

6. 藍の情報発信(「藍国際フォーラム」)

四国大学研究ブランディング事業(愛称:SUBARU事業)の中でも大きなイベントとなる国際フォーラムを令和元年7月6日(土)に四国大学で開催した。

このフォーラムには240名を超す参加者があり、グローバルな視点から「藍」を見直すことができ、四国大学が「藍の知の拠点」の構築を目指していることや藍の情報について広く情報発信ができた。

【講演会】



四国大学 佐藤一郎理事長による開会の挨拶



四国大学 松重和美学長による「SUBARU 事業」の紹介



四国大学 近藤教授による「食べる藍」の研究紹介

2019年7月7日(日) 徳島新聞 朝刊

(1) 基調講演

「アメリカで藍を育て、染から染まで～ジャパンプルーの展開～」

インディアナ大学 教授 ローランド リケッツ 氏

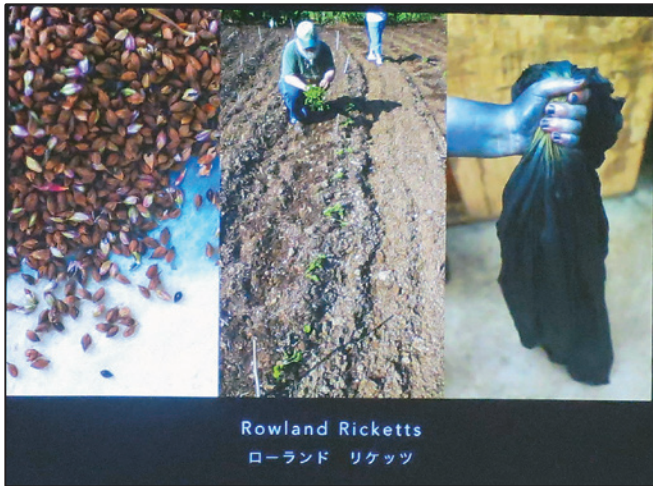


【プロフィール】

Mr. Rowland Ricketts(ローランド リケッツ)

インディアナ大学の染織学の教授

- ・天然染料と伝統的手法を使って芸術性やデザイン性の高い現代アートを創作
- ・日本で藍の栽培や染色手法を学び、2005年にクランブルック芸術アカデミーで M.F.A. を取得
- ・自らアメリカで藍を育て、染をつくり、藍染めを実践
- ・作品は、ワシントン DC のテキスタイル博物館、ボストン美術館、現代クラフト美術館、シアトル美術館で展示
- ・2012年米国アーティスト・フェローシップ、2014年マーサ・スチュワート アメリカンメイドアワード受賞



「ジャパンプルー」と呼ばれる阿波藍の魅力発信へ、2018年に徳島市で発表された大型空間芸術「阿波藍アート・藍のけしき」が20年7月21日2月、米スミソニアン博物館の中核施設「スミソニアン・アメリカ美術館」で展示されることが決まった。

美術館は2年ごとに、数人の招待作家による展覧会を開いている。今回、徳島で染作りと藍染を学んだ米インディアナ大学美術部のローランド・リケッツ副学部長(染織学)が選出された。リケッツ副学部長は、阿波

「スミソニアン・アメリカ美術館」展示されることになった「藍のけしき」  
 阿波藍アート・藍のけしき  
 2018年 月

### 阿波藍米スミソニアンに

藍の発信を目指す県などの企画で、18年に自らが発信し、県立21世紀館で公開した藍の芸術作品の展示を申し入れた。承された。作品は、阿波藍で染めた約440枚(30センチ四方)の布を直径8センチ、高さ4センチのドーム型にする。内側からライトアップしたもので、リケッツ副学部長は「(美術館で展示する)ことが夢みだ。いい展示にしたい」と話しているという。

美術館でも21世紀館と同様に、ドーム型になる。藍染の布をつるして展示する。  
 (日経藍染)

### アート作品 来夏展示

2019年7月30日(火) 徳島新聞 朝刊

## (2) 事例紹介1

「卓也藍染(台湾)のブランド展開～藍文化を人々に取り戻す試み～」

卓也藍染 デザインディレクター 卓子絡氏



### 【プロフィール】

卓子絡(チャー ツーロー)

- ・2003年、台湾で「卓也小屋」レジャーファームを開設
- ・野菜料理の提供と民宿をするほか、藍染め体験と製品を製作する工房を始める
- ・2014年には、台湾の藍文化を広めるため、ブランド「卓也藍染」を設立
- ・卓氏は、2013年台湾師範大学を卒業
- ・卓也藍染の二代目として商品・デザインディレクターを務め、国内国際プロモーションイベントにも参加
- ・2016年と2017年には、台湾良品美器トップ工芸品賞を受賞



(3) 事例紹介2

「キルギス共和国で日本の藍染技術を導入～イシククリブルーへの挑戦～」

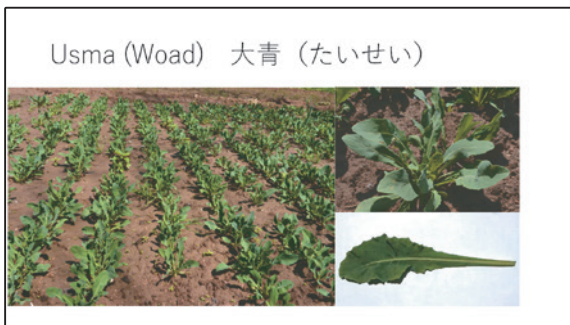
公益法人 One Village One Product +1 CEO ナルギザ・エルキンバエバ 氏



【プロフィール】

Ms. Nargiza Erkinbaeva(ナルギザ エルキンバエバ)

- ・キルギス共和国の公益法人 One Village One Product +1(OVOP+1)の CEO
- ・イシククリ州では2006年からJICAの協力のもと、地域経済活性化を目指した一村一品(OVOP)事業を開始
- ・地域の特産品を付加価値の高い商品に加工・販売し、地域経済やコミュニティの活性化を図り、キルギスで着実な成果を挙げて人々の意識を変革
- ・現在、キルギスでは全土を対象とした一村一品・イシククリ式アプローチの他州展開プロジェクトを推進中
- ・イシククリ州でのモデルとして公益法人 OVOP+1 の取組みは、キルギスでの一村一品運動推進において大きな役割を果たす



【語り場】

(1) 藍染

会 場: 藍の家1階

参加者: 事前申込みされた参加者(30名)、講演会演者3名

生活科学科有内則子准教授がファシリテーターを務め、藍染について情報交換や意見交換を行った。



(2) 阿波藍絵巻

会 場: 藍の家2階

参加者: 事前申込みされた参加者(30名)

SUBARU 事業の一環として作成した石井町教育委員会所蔵「藍農工作之風景略図(絵巻)」の図録を資料に、立石恵嗣四国大学古文書解読研究員(石井町文化財保護審議会委員)が解説を行った。



資料の図録(表紙)



藍農工作之風景略図(藍の植付)



藍農工作之風景略図(玉藍の生産)

### (3) 食べる藍

会 場：中央棟1階ロビー

参加者：希望者

生活科学部管理栄養士養成課程近藤真紀教授と学生が「藍」を使ったお菓子を試作し、来場者に藍葉粉末入りクッキーとわらび餅、藍生葉入りスムージーとジェノベーゼ風ソースを振舞った。



試食会場の様子



藍葉粉末入りクッキー



試食用のお菓子



管理栄養士養成課程の学生が対応

### 【展示会場】

会 場：中央棟 1 階ロビー

講演会終了後、多くの皆さんに参加いただいた。

また、講演会のアンケートに答えていただいた方に「藍の花から分離した酵母を使って醸造した日本酒」をプレゼントした。



展示会場の様子



藍農工作之風景略図(絵巻)のパネル展示



四国大学の学生が製作した作品



徳島県の展示



藍住町地域おこし協力隊活動紹介パネル



徳島市の展示(藍染ドレス)



卓也藍染(台湾)の藍染作品



キルギス共和国の展示

### 【藍の花酵母日本酒】

藍の花から分離した酵母を使って醸造した日本酒を  
展示会場にてアンケートに答えて頂いた20歳以上の  
参加者に提供

徳島県三好市の三芳菊酒造株式会社との連携で生産  
ラベルは、生活科学科デザインコースの学生がデザイン、  
帯の揮毫(藍の花酵母)は、書道文化学科の学生が担当



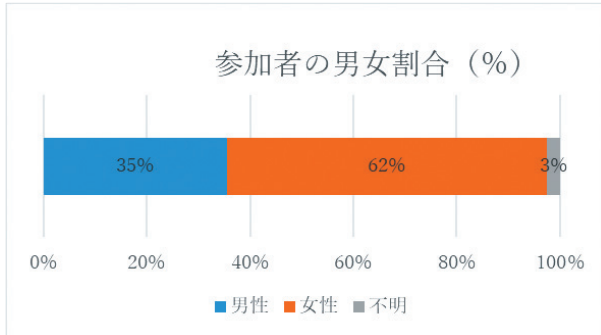
【参加者の概要】

開催日時:令和元年7月6日(土) 13:00~17:00

開催場所:四国大学

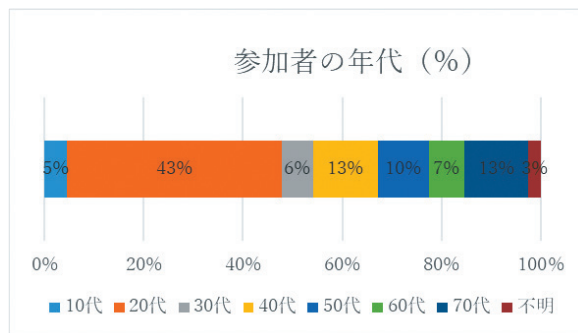
参加人数:240名 アンケート回収:155名(64.6%)

参加者の男女割合



男性	55名
女性	96名
不明	4名
合計	155名

参加者の年代

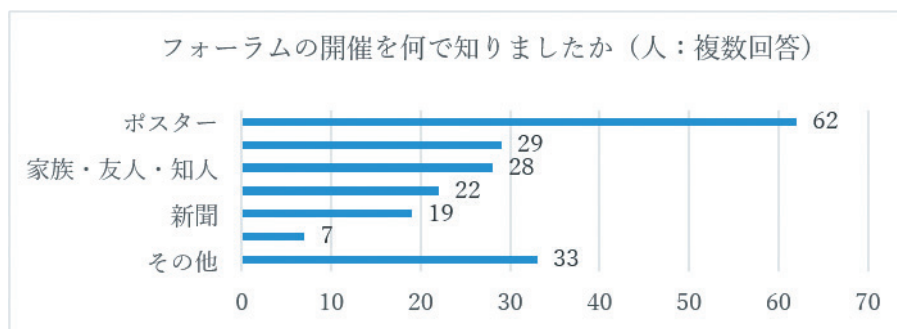


10代	7名
20代	67名
30代	10名
40代	20名
50代	16名
60代	11名
70代	20名
不明	4名
合計	155名

参加者の居住地

徳島市	64名	小松島市	5名	那賀町	2名
阿南市	12名	石井町	5名	板野町	2名
藍住町	11名	上板町	5名	松茂町	1名
鳴門市	7名	佐那河内村	3名	三好市	0名
美馬市	7名	北島町	3名	つるぎ町	0名
吉野川市	7名	東みよし町	3名	県外	7名
阿波市	6名	勝浦町	2名	不明	3名

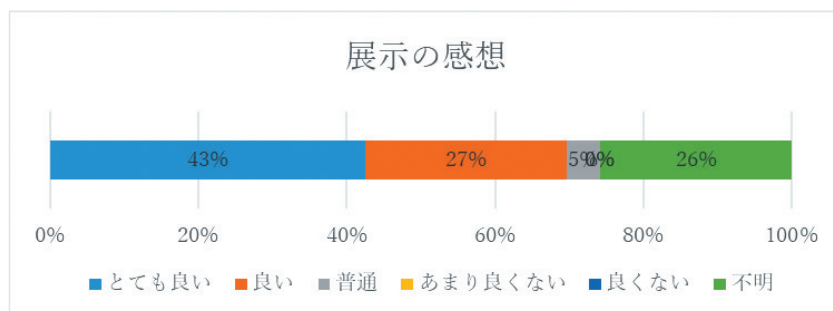
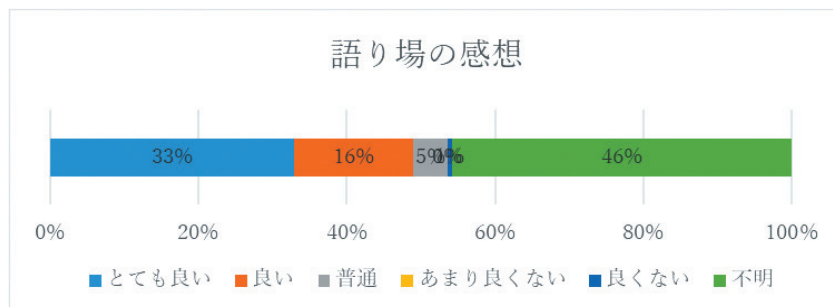
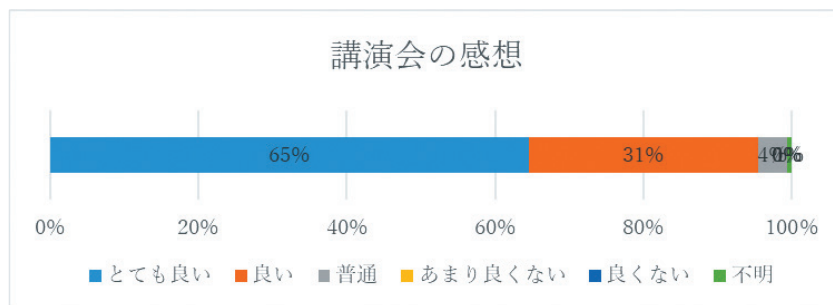
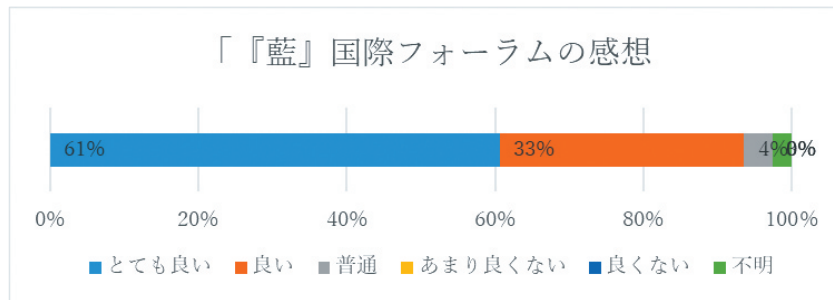
情報源



その他:NHKの放送、消費者協会、授業、職場



【アンケート結果】



## 【感想等自由記述】

- リケッツ先生のお話は、とても刺激的でした
- リケッツ教授が藍栽培や藍染を通じて環境問題やアメリカの歴史に踏み込んだ所が大変良かったです。すなわち大量消費や環境汚染への警鐘の提案も併せてよかったです。卓先生のレジャー農場、藍染工芸構想の提案もすばしかったです。キルギス共和国の取り組み例。過去には大青でやったこと。大学との交流
- 藍が世界へ広がっていることを実感しました
- 藍にかかわる仕事をしており、今のヒントになる何かを探しに来ました。おもしろかったです。
- 初めて耳にすることはばかりでとても興味深いものでした。市民・県民へのPR活動をさらに頑張っていたらとさらに良いと思う。
- 今日はとってもありがとうございました。お菓子おいしかったです、お話会が実現できなかったのが残念。いろいろ個人で教えていただけただけは良かったです。1日ありがとうございました。
- 素晴らしいフォーラムです。より多くの人に聞いてもらいたい内容でした。徳島の藍染技術者からのプレゼンテーションがあってよいですね。藍染商品の販売会も一緒にあれば買いますよ！
- It was interesting to learn presentation an experience of other participants of the Forum. Thank you! (ほかの参加者の方々の経験発表を学ぶことはとても興味深いことでした、ありがとう)
- 貴重な機会に参加できてよかったです。すごくおもしろいので、定期的にこういったお話が聞ける機会があれば伺いたいです。
- 世界各国の藍の現状が聞けてとても素晴らしかった。薬用植物としても注目です。
- I think it was good forum. Good organized and very useful. Interesting presentations and nice exhibition of Aizome dyed products. (よいフォーラムだったと思います。よくまとまっていたとても為になった。プレゼンテーションと素敵な藍染製品の展示会はとても面白かった。)
- 講演とてもよかったです。
- 海外の様子、食用の話、大変良い時間を過ごせて感謝です。
- 藍が奴隷との交換に使われていたというのがとても衝撃でした。地域によっては藍の作り方が違うことを初めて知っておもしろかった。色褪せは、藍が呼吸をして、周りの環境になじんでいるという考え方が独特な考えで素敵だと思った。
- 食べる藍は初めて知ったが、藍は小学校の時に藍を育てて液体になるまで作り色を染めるのに使っていました。食用藍は糖尿病を改善したり、食べるという発想はすごいと思い、食べてみたいと思った。
- 藍は布に染みこましたりして作品をつくったりする技術だけであると思っていましたが、藍を食べるということにとっても驚きました。また、藍に糖尿病を改善する働きがあるということがとても興味深かったです。そしてアメリカや台湾など海外でもいろいろな取り組みが行われているということで藍の可能性をとっても感じる事ができた。
- 台湾での藍染の染液作りを初めて知り興味深かったです。同じ藍草も日本のタデアイと違う木藍であることも染料の作り方の違いになっていることが分かりました。キルギスで藍染をしていることを徳新で知り、ぜひ聞いてみたいと思っていたので今回とても良かったです。
- 非常に内容のあるフォーラムで良かったです。
- 食べる藍の体への影響は大いに関心があります。とくに簡単なスムージーは健康飲料として良いのでは。
- リケッツ先生の藍の製造過程の動画や画像に興味をひかれました。とても綺麗で見入ってしまいました。卓先生が紹介されていたスカーフも「欲しい!」と思うぐらい素敵でした。
- ローランド・リケッツさんの「色をつくる」という言葉が印象的でした。作品がとてもきれいだったので日本で展示があれば見に行きたいと思います。染めるだけだと思っていた藍の将来性がみえました。
- 食用藍は体に良いことがあるときいて食べてみたいと思った。
- 去年、学際で藍のクッキーを食べましたがとてもおいしかったです。
- 藍の文化がこんなに世界中に広がっているとは思っていなかった。他国の方の講演を聞いて藍染への可能性や考え方が広がった。
- アメリカ、台湾、キルギスの藍の作り方や染め方を学ぶことができとても勉強になった。藍の色は酸素に触れることできれいな色が出ているということを知った。
- 藍染めが世界中で行われていることを知らなかった。徳島に住んでいるが、藍染めに触れたことがほとんどなかったので初めて知ったことが多かった。食用藍にとっても興味があった。
- 藍染めが世界で知られているとは知らなかったし、藍染めはこれからの日本にもっと良い影響を与えられると思った。
- 藍がこんなにも世界で活躍しているとは知りませんでした。藍色の展開やその技術が伝わり、広がることを嬉しく思います。食べる藍の効果に興味があります。藍葉でレアチーズケーキを作ったことがあります。
- 講演会非常に興味深かったです。色々と考えさせられました。
- 同じ藍に関わりながら、各人の「目的」が違うことで、それぞれが興味深い話であった。視野が広がりました。阿波藍をもう少し生活の中に取り入れたいと思いました。葉から藍へと考える生活に切り替えようと思いました。研究を心より応援しています。
- 藍のことをとりあげてくれてとても良い
- 徳島の藍と海外の藍の交流が促進されること望みます。
- 藍産業のすそ野が広がっている現在、原点の阿波藍(染、灰汁発酵建)を片隅に寄しやっていると。いつまでも藍染商品の混乱が続いていることは残念である。
- 興味深い内容であった。
- ローランド・リケッツ教授の「藍」生活に興味を持った。自然との関係を大切にしている生活態度が感じられ、将来は“Beyond 藍”Lifestyle を実践していられるように思いました。
- 藍の可能性、機能性食品化、サブリ化

- リケッツ氏の話は染色だけでなくヒストリーを交えて興味深かった。キルギスの話は日本とは違った植物での藍染めで面白かった。
- 藍のいろんな可能性にワクワクしてきました。これからの研究に期待しています。とっても素晴らしいフォーラムでした。藍に色も香りも味も良くて特に色合いは素晴らしいかったです。
- 色々な国の藍染めについて知ることができて勉強になった。台湾は沈殿藍、キルギスではウスマという日本とは少し違った方法、植物で行われているとは知らなかった。体への健康にも注目していきたいと思います。
- 藍の生物資源を総合的にまとめて、更に発展させていこうとの意思が感じられて良かったと思います。ただ、徳島の藍の栽培を復活させる為の方法がまだ確立されていないことに立ちがあり、もっと努力すべきだと思います。
- 海外でも「藍」が使われ、染色も行われていることを初めて知りました。素晴らしい企画だと思います。
- それぞれの方の研究発表、挨拶をされた先生方の熱い思いが伝わってきたよいフォーラムでした。ありがとうございました。
- これからの阿波藍の発展が楽しみにになりました。
- 今までの藍の活用法と位置づけの見方が変化しました。薬用的にもっと詳しく知りたいです。
- 藍の今後の可能性を感じた。
- 松重学長先生の講演に使用されたパワポデータをペーパー資料として提供してほしいです。藍の可能性の拡がりを身近に感じることができた。
- 藍の良さ、自然環境との共存について再認識できました。又、キルギス共和国の存在を知り取り組みに興味があります。通訳の英語の内容と日本語の内容が違うところもあり聞きづらい時もあった。阿波藍が世界へと広がり人々や自然環境をより良くしてゆくことに希望が持て、とても良い時間になりました。
- 色々な国で藍染めがされていることを知った。食用藍の可能性について知れて良かった。
- 今、自生の藍を子どもたちと育てています。那賀町に自生していた宮殿夢藍です。学校の方で続けているいろいろなアイデアをいただきました。
- 食用藍についての研究が大変興味深かったです。
- 藍を使用した食品を食べたことがないので食べてみたいと思った。
- 日本の藍が数々の国に伝えられている、知られて作っているというのはすごく素晴らしいことだなと思いました。これからも藍がたくさんの方に愛されてほしいと思いました。
- 他国での藍を利用した取り組みなどが知れて興味深かった。
- 外国の藍など、同じように見えて鮮やかさが違っていたり作り方も変わっており、とても面白いなと思いました。
- 国際色豊かで大変興味深く、良かったです。
- 藍染めの文化が世界各国で広がっていることが知れて良かった。
- セミナーの時間配分が適切で良かった。
- ローランド・リケッツ氏の人類に対して、自然に対して、とても素晴らしい考え、行動を現実化されている事大変感動いたしました。私も藍がとても好きです。食することも考えています。
- どの講演も大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 日本以外の藍の生産や活用方法など普段聞くことができない内容を知る機会に参加でき大変興味深かった。講演者それぞれの立場から藍との関りを話していただき勉強になった。
- 藍について詳しく知れてよかった。
- 今後とも続けていただきたいです。
- 食用藍の事がおもしろかったです。
- 他国の藍染事業の事例紹介が大変興味深かったです。また、食藍に関する研究紹介は初めて拝聴しましたが、健康にも良いということで、今後藍を食べられる機会があれば、ぜひ積極的に参加したいと思います。
- 藍を作るのにこれだけ手間と時間、一人一人の想いが詰まっているんだなと思い感動した。
- 藍のことについてとても詳しく知ることができて良かったです。私は小さい頃、藍染めをしたことがあって、興味を持って話を聞きました。今後、徳島のいいところ、有名なものを聞かれたときに、藍について教えていこうと思います。
- 今まで藍にそこまで興味がなく、ただ徳島の藍は有名という事ぐらいしか知らなかった。今回の講演を聞いて興味がわいた。特にラットの実験は興味深かった。
- 今回の講演会を聞くまでは「藍」のことを全く知りませんでした。青色との違いや藍という色を出す色素の価値などを理解できた気がします。まず色というものの自体にあまり知識がなかったのですが、ローランドさんの動画の中で、藍の葉から藍の色素を出す演出をリアルに見て、葉の緑が空気にふれて、あの藍色が出ていて、ブランドものだなあと感じました。また、その藍色が国際的に様々なことに使われていることを知り、藍の凄さと可能性を感じました。
- ローランド教授のご講演を聞いて、私は徳島県民にもかかわらず、藍の作り方もよく知らないし、藍の素晴らしさを分かっていませんでした。これからは、もっと藍に興味を持ってたので何かのイベントなど積極的に参加したいと思います。他国でも藍に注目が集まってきていて、グローバル化していて素晴らしく感激しました。
- 普段、きくことができない内容だったので、きくことができてよかった。
- すくも作りによって発色が異なるのでしょうか？勤務先の福祉施設で少量作っていますが実験回数が少ないためデータがとれません。
- スライドを用いて説明をしていたので、とてもわかりやすく聞きやすかった。
- 卓也小屋に行ってみようと思った。世界で藍染めが行われていて驚いた。
- 各講師の講演は多様な国情、個人の個人の考え方の違いが明確で大変参考になった。

- 技術の進歩によって環境へもたらす影響について改めて感じました。なぜ、わざわざ大変な思いをしてまで藍にこだわるのかがあるのだと思いました。芸は身を助く。
- 藍は染め方によってグラデーションになったりして、すごいきれいだなと思いました。徳島にも有名なファッションブランドの人が来ていることをツイッターで知って世界にも広がっているのだと感じました。藍の葉の他にも、あんずの葉などを使った染め物がキルギスで作られていることを知りました。
- 藍が世界の各所で研究され、また、キルギスへも技術指導も四国大学の有内先生のご協力がある様で、もっと、種々の利用活動の材料になれば良いと思いました。台湾でのいろいろなアイデアも注目すべきかな？徳島の藍文化も、もっと発展が望まれる。
- 大阪出身なれど徳島転勤後、藍の魅力に驚き何十回と藍染めを経験したり、阿波の人間が意外にも藍を愛する人が少ないのに驚いた次第なり。藍食は大変面白かった!!
- 現在、いろいろな藍食品が発売されている中、「藍=青色に染まる」以外にも、こういう味ですよ、こういうものですよっていうのを知ってもらうことができるとても良いのではないかと思った。藍の葉を直接見たことがなかったから見てみたいと思った。
- タイムリーな企画で、グローバルな視点から藍を考えることができるとても興味深かったです。藍ができるまですごく時間がかかることや、日本以外の外国の藍の作り方が違うことなどわかって良かった。四国大学でも藍でいろいろな作品を作っていることがわかった。藍色を発色するのは難しいがとてもきれいな色がでるとわかった。
- 非常に貴重なお話をグローバルな視点と経験から聴くことができるとても良い機会となりました。実験についてできれば、もっとデータを見せていただければ幸いです。藍栽培についても見せていただきたいと思いました。
- スライドがみやすかった。
- 藍は染めものだけでなく食べることによって体にもたらすいい影響もあることを知り、藍について知るいい機会になりました。藍を使ったさまざまな活動があり、多くの人に知ってもらうために実際に体験してもらうなどの工夫もされていて、私も藍で作ったものを買ったり染めてみたいと思いました。これからは藍について知りたかったです。ありがとうございました。
- 藍は服やストールなど身に着けるものや、かさや布を染めるだけだと思っていたが、今日お話を聞くと食べものにも多く使用されていることが分かり、藍の多様性に驚きました。また、海外の人も藍を広めようと時間と手間をかけ、ものづくりや指導などの取り組みをされているのでこれからどんどん藍が知らない人にも伝わっていくといいなと思います。私も藍を使った料理を作りたいと思いました。
- 他の国の染め液の作り方や色んなことを知れて勉強になった。
- 日本の藍がほかの国で使われていたことに驚いた。藍が広まれば良いと思った。
- ラットを使った実験により藍の効果を知ることができるとてもよかった。藍について知ることができた。
- 様々な取り組み、事例を知ることができ、勉強になりました。
- 世界の藍染めの状況がよくわかり興味がわいた。藍染めは徳島だけかと思っていたが、県外や世界中であるということを知ることができた。
- 藍についてよくわかった。
- ぜひ継続して広く各人を巻き込んで開催してください。よかったですよ。
- 徳島発で世界の各地で藍の魅力が発信されていることに感動しました。
- 他の国における藍に関する取組が、とても興味深いものでした。藍で繋がる国際交流の今後に期待しています。
- 外国の方々とも藍を通してこのように通じ合えるというのはとてもすごいと思った。海外の藍についても興味を持った。

【今後、「阿波藍」の新たな価値創造を目指す「研究ブランディング事業」に対して

四国大学に取り組んでほしいこと】

- 農地放棄地が増えていますので、これら事業の発展により、藍栽培による第一次産業の発展につながれば幸いです。
- 益々のご発展をお祈りいたします。”
- 学生の藍製品など安く販売して欲しい、もっと発信してほしい
- 藍を使った商品の化学的根拠の調査と講座等
- 引き続き世界の藍産業や資源活用に対する取り組みを支援していただき、報告をしていただきたい。
- 香料としての開発、ぜひ参加したいです。
- 世界を巻き込んで藍を広めましょう。
- If possible, it would be great if woad could be researched of this university. (もし可能なら、この大学でウォードについて研究することが可能なら素晴らしいことです。)
- 株式会社良品計画とぜひ取り組みたいです。
- 附属こども園で毎年5歳児60名が、生藍の染色で作品作りをしています。学内で展示(藍染)の時は、こども園の作品も加えて頂けないかなと思いました。
- 阿波藍のアート
- 生活科学科の方のみならず、藍にふれる機会が設けられたらと思ったし、実際に藍を作って料理もしてみたいと思いました。
- 藍の生葉の食用化に興味があります。種さえ入手すれば、育てるのは簡単なので、これをどう調理するか興味を持っています。染める。食べる藍素晴らしいです。

- ・藍の価値を高め、日本中に広まるつながりに取り組んで行ってほしい。
- ・徳島で生まれ、徳島の藍をもっと知り、もっと宣伝していきたい。
- ・藍を使って行うクッキング教室をしてほしいです。できればスイーツを作りたいです。
- ・口ウケツ染め
- ・何か形に残るモノを創っていただきたいです。
- ・藍の機能性成分分析を更に進めてほしい。
- ・芳藍祭でいつも藍入りパウンドケーキを買うことができません。少量を増やしていただければ嬉しいです。薬よりも藍と仲良くしたいと思います。
- ・藍の流通の歴史なども取り上げてほしい。
- ・発酵について
- ・産業との連携をお願いします。
- ・阿波藍(染・天然発酵染液)は阿波徳島の産業、文化科学の礎です。日本の宝と言われしめた知的財産です。地理的表示(GI)保護制度が施行されて4年にもなりますが無数の有用微生物によってつくられた藍色の原点、阿波藍のGIを取得する事を切望致します。何事も原点のものを大切にすること、GIとる事は最優先されるべきです。GIは世界へ発信するための大きな原動力となり未来に向けて若者に夢と希望を与えてくれるものです。
- ・藍の色素(インディゴ)の健康に及ぼす影響を医学、薬学、栄養学分野から探索しその結果を通し「色素の普遍的意味」を究明してほしい。
- ・色素の研究(特に色素の健康)
- ・藍のカス、また廃棄される原料を使った固形熱料などの研究。髪の毛染料(頭皮や髪に良い薬品)。薬(医薬品 etc)。化粧品
- ・藍を使った文具(えんぴつなど)子どもに普及できる。藍を使ったスポーツドリンクの研究(大塚製薬など)、オリンピックをはじめスポーツする人たちへ使ってもらい普及させる。
- ・オリンピックカラーも藍なのでこれから、藍をどんどん暮らし、生活の中に取り入れていきたいです。ありがとうございます。
- ・藍の種子より油を搾油して、工業用原料として利用する方法を確立し、藍の産業の再生を目指す。塗料の生産(顔料)、沈殿藍の工業化
- ・歴史のある大学のこれからの活躍が楽しみです。
- ・東京オリパラでの藍の発信
- ・日常生活で普遍的に藍が感じることができるよう、企業や自治体等と連携をすすめてほしい。日本、世界で「藍」の研究といえば「四国大学」となるようこれからも研究や取り組みを進めてください。
- ・タイアップイベントや公募プログラムも行ってほしい!!昨日、本日のフォーラムを知り参加しました。本日に藍についての深い内容で素晴らしかった。もっと活動をアピールして欲しいと強く感じました。
- ・那賀町相生小学校5年生が取り組んでいます。何か地域の連携との連携で協力できることがありましたら連絡ください。
- ・東京オリ・パラが1つのくぎりだと思いますが、できたらその後も活動を継続していただきたいです。
- ・発展として、児島のジーンズのようにビッグビジネスにつながるようなプロジェクトを作っていただきたい。
- ・人材育成(藍すくも作り)
- ・阿波藍の知的拠点への取り組みの成功で祈念しております。
- ・生葉で染める事も可能なのでしょうか?食べる藍はとても関心があります。今後の研究を楽しみにしております。
- ・藍のアート作品を世に出してほしいです。
- ・阿波藍が明治時代まで全国シェア1位だった理由の1つに品質の良さがあつたと言われますが、他地域のすくもよりどのような点で優れていたのか科学的な視点で解明することは可能でしょうか?
- ・事業についての情報発信のまとめ、サテライトでよいから知らせてほしい。
- ・防虫・抗菌作用の研究(人間に対する)
- ・藍を使って、副作用のない薬を開発できないでしょうか?
- ・情報発信と情報収集共に、日本を代表する組織を作ってください。質問を受け付けて頂けると嬉しく思います。
- ・食用藍
- ・商品開発について、徳島県市の推進等がクールビズとして着用できるし、シャツも開発し沖縄の「かりゆし」のうようにクールビズで着用できるようにしてほしい。
- ・100年後にも残せる手法・技術の創造。
- ・もっと全世界にも発展するように御願ひ致します。県の取り組みが弱いのが気になります。
- ・現在、藍のクッキーなどしか知らないからあまり何も言えないが、藍の食べ物をもっといろんな人に知ってもらいたいと思った。
- ・ブランディングに参加できる機会があれば、一緒に藍食品を作りたいです。